

第2部-1 世代ごとの対策 ～乳幼児期～



目かけ 声かけ 手をかけて
にこにこ すくすく 未来っ子



1 乳幼児期の健康づくり

キャッチフレーズ

目かけ 声かけ 手をかけて
にこにこ すくすく 未来っ子

子育てをする親として心がけることと、子どもの将来の姿の2つの視点を思い描いてつくりました。“にこにこ”は笑顔や楽しさ、“すくすく”はよく遊び、よく食べて、よく寝て子どもが育つ姿を表現しています。

(1) ウィッシュ・ポエム（夢・願い）

「精華町の乳幼児期がこんなだったらいいな」という夢や願いを詩に託しました。

みんなで楽しく子育てを！

外で元気に楽しく子どもが行きたくなる場所があるといいね
気軽に子育てママが交流できるといいね
ババならではの関わりができるといいね
父親と母親が子どもと一緒に自分を高める場所があるといいね
家族団樂しながら正しい食生活ができるといいね
子どもの健康を守る情報や施設があるといいね
世代間交流できたらいいね
地域の人々があたたかく見守る中で安心して子育てできるといいね

自分達が子どもの頃育った環境や地域での様子を少し思いだしながら語り合いました。乳幼児期の子どもと育児に関わる者の理想的なイメージを膨らませました。夢を語りあったことで、地域の中であたたかく見守られながら楽しく子育てしていける！していこう！という情熱を共有できました。

(2) ウィッシュ・ポエムの背景

乳幼児期は、生活や遊びの中で、基本的な生活習慣を身につけたり、親・友だちなどとの人間関係の基礎を築いていく時期です。この時期は、食事、玩具や遊び場、生活リズムなど全ての面において養育する親の影響を大きく受けます。

少子化、核家族化などの影響で、親自身が子育てに関して不安や悩みを持っているケースも多く見られますが、一方で子育ては、親自身が親として、また一人の人間として多くのことを学び、成長するチャンスでもあります。そのためには、子育てについて親が孤立することのないよう、周囲の支援も大切であり、地域ぐるみで子育てをする環境づくりが求められます。

子育ては、「親育ち」「地域育ち」の良いチャンスであり「みんなで楽しく子育てを！」ということばには、そのような願いが込められています。



(3) 現状分析

委員が見た乳幼児期の現状

ウィッシュ・ポエムを作成したあと、みんなで子どもや子どもを取り巻く環境などについて、問題意識や思いを出し合いました。

現 状 ・ 思 い

子どもの遊び場

- 子育て支援センターは遠くて車で行かなくてはならない
- 子育て支援センターに行くのに巡回バスの時間があわない
- 1歳までは公園で遊ぶのは無理
- 子どもはいるのに公園に行っても誰にも会わない
- 旧地域の人も近くであれば（サークルや集いに）参加したいという声がある
- 道路で遊んでいると周囲の人から嫌がられたことがあり、家にいることが増える

遊 び 方

- 父も母も遊び方がわからない親が多いのではないか
- 1歳くらいでおもちゃに飽きた子をどうしていいかわからない母親がいる
- 子どもが10ヶ月くらいのとき、他の人がどうやって遊んでいるかみたい、知りたいと思ったことがある
- ボタン一つで反応する玩具でなく、想像力が育つ玩具で遊ばせたい
- 自然の中で遊ぶことが大切だと思うが今はそれが少なくなっている
- 大きい子と小さい子が一緒に遊んでいる姿を見ない

父親の地域参加

- 父親は子どもとの食事時間が合わない
- 父親はコミュニケーションがとりにくくなっている
- 父親でも育児休暇をとれるがとっている人は少ない
- 男性が育児休暇をとったら3年後には席はない
- 土日は子どもとコミュニケーションをとろうとするが毎日ほとんどとれず短い時間になる
- ほぼ母子家庭状態だったので育児に関わってほしかった
- 自営の場合は子どもとコミュニケーションをとりやすい
- 妊娠期のパパママ教室に参加する父親がある
- 土日に事業を行えば父親が参加している状況がある

食 生 活

- 市販のおやつ、ジュースを与えるケースが多い
- 肉が好きで野菜を食べない子がいる
- アレルギーの子どもが増えている
- かたいものを食べない。食べるのを嫌がる

母親のリフレッシュ

- 子どもとのコミュニケーションは母親が中心
- 母親はリフレッシュできているか。映画や買い物にも行きたい
- 自分を高める場所がほしい

課 題

- ◆地域地域で遊びがあるとよい
- ◆1歳未満でも遊べる室内の遊び場があるとよい
- ◆居住地域に関係なく仲のよい者が集まれる場所があるとよい

- ◆どうやって遊ぶか、情報の発信場所があるとよい
- ◆自然の中で友だちと遊ぶことが必要

- ◆父親が事業に参加しやすいように土日の事業を検討することも必要
- ◆育児早退制度があったらよい

- ◆偏食をなくしバランス良く食べる習慣が大切
- ◆おやつとのえ方に工夫が必要

- ◆自分を高める場所があるとよい
- ◆各母親がリフレッシュできる環境が必要（祖父母の応援など）

数字から見た乳幼児期の現状

精華町の乳幼児の健康課題や子育ての現状を乳幼児健診時の問診票等を中心に整理しました。

●子育てママの状況

- ◎子どもの年齢があがるにつれて楽しい気持ちで子育てしている人が減っている
(下図参照) [平成17年度 精華町乳幼児健診の問診]
- ◎育児から離れ、リフレッシュしたいと思っている人 74.5%
- ◎必要以上に子どもをきつくしかる人 32.7%
- ◎子どもを叩きたくなる・叩く人 32.2%
- ◎父親の育児参加の意欲が低いと感じている人 25.2%
- ◎子育てに自信が持てない人 23.9%

[精華町児童育成計画・精華町次世代育成支援行動計画]

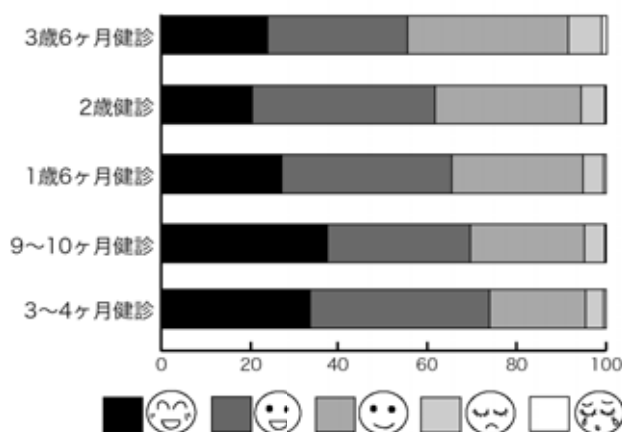
●子どもの食生活

- ◎毎日野菜を食べない幼児(4歳未満)が35%いる
[平成17年度 厚生労働省 乳幼児栄養調査]
- ◎2歳児で偏食のある子どもは60.6%いる
- ◎3歳児のおやつに、あめ・グミを31.4%、スナック菓子を29.2%の人が与えている
- ◎ジュースを飲んでいる割合が、1歳6ヶ月児では42.7%いる
[平成17年度 精華町乳幼児健診の問診]

●子どもの生活

- ◎1歳6ヶ月～3歳児の外遊びの時間が1.5～1.6時間と短い
- ◎就寝時間が夜10時以降の乳幼児が30%～60%いる(3～4ヶ月児除く)
[平成17年度 精華町乳幼児健診の問診]

児の年齢と子育てママの気持ちの変化



[平成17年度 精華町乳幼児健診の問診]

(4) 目標設定

目標1 正しい食習慣を身につける

- ◆偏食をなくしバランス良く食べる
- ◆食のマナーを身につける
- ◆食に対する正しい知識を身につける

目標2 体をつかう習慣を身につける

- ◆体をつかって外遊びをする
- ◆車に乗らずに歩く機会を増やす
- ◆安全に遊べる場所を整備する

目標3 基本的生活習慣を身につける

- ◆着替え、トイレ、歯みがき、洗面などの基本的生活習慣が自分でできるようになる
- ◆生活マナーを身につける

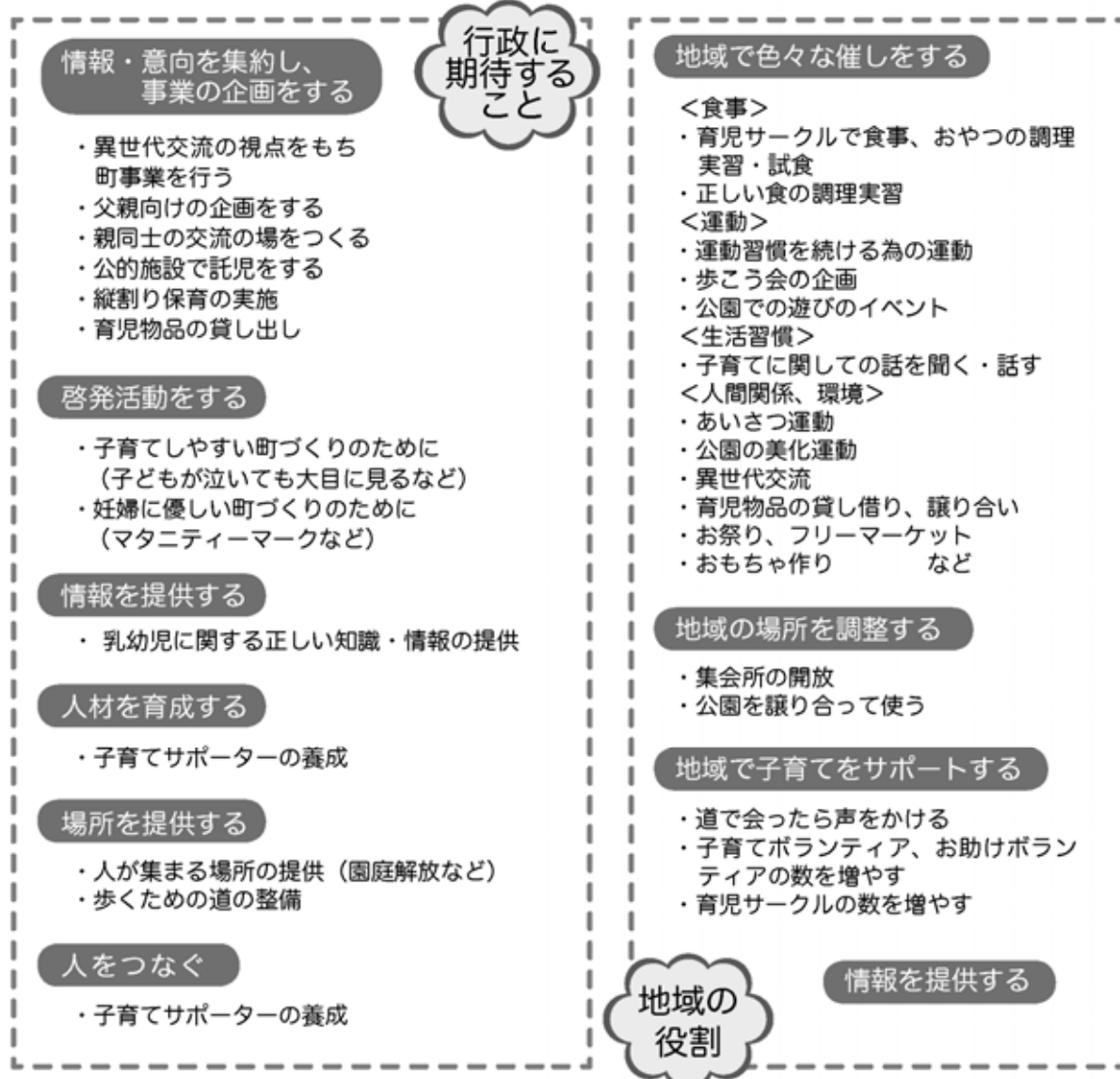
目標4 人間関係を築いていくための基礎を学ぶ

- ◆いろいろな人と交流を持ち、対話・コミュニケーションを楽しむ
- ◆自分の気持ち、意志を表現できる

目標5 子どもを健やかに育てやすい（家庭や）地域や社会環境がある

- ◆周囲に子育てを支えてくれる協力者がいる
- ◆気軽に相談できる場所がある
- ◆子どもが安心して遊べる場所がある

(5) ワークショップで果たそれぞれの役割



個人の役割

★乳幼児の役割

さまざまな経験を積み、生活習慣を身につける

★大人の役割

子どもの鏡（見本）になる

- ・食事に手間ひまかける
- ・歩く
- ・生活リズムを整える

子どもに関心を持ち、子どもの成長を見守る

- ・子どもの意思を聞く
- ・家族で話し合う

知識、情報を得る

周囲の支えを意識しながら子育てする

- ・いろいろな人に相談する
- ・経験者の意見を聞く
- ・人に頼る

公的資源・サービスを活用する

イベントを提案し参加・参画する

(6) 参加参画の健康づくりをすすめるための行政の役割

情報発信、保健事業の充実

- ◆乳幼児の望ましい食習慣・運動習慣・生活習慣についての知識の情報提供をしていきます。
- ◆生活習慣を身につけるために、身近な人や専門職から体験談や生活の工夫についての情報を得られるようしくみをつくっていきます。
- ◆健診・相談・教室などの保健事業を通して、子どもの成長を喜び、自信を持って育児ができるように、支援する体制を充実させていきます。
- ◆子育て世代の親が自分自身と子どもの健康とは何か、健康のために大事なことは何かを考える機会をつくります。

育児支援、人材育成

- ◆妊娠期から、地域で気持ちを共有し合え、助け合える仲間ができるような取り組みを充実させていきます。
- ◆育児の先輩（異世代）との交流を通して、将来の見通しを持ち、育児を楽しむように支援します。
- ◆子育てを支援するために、リーダーや子育てサポーターの活動支援を図ります。
- ◆異世代交流を通して、心身の成長を育むような取り組みをしていきます。

協働して事業や活動に取り組む

- ◆乳幼児・子育て・障害児の支援・男女の育児参加に関する取り組みをしている庁舎内の各課、機関、グループなどと連携して取り組んでいきます。
- (関係機関) 児童育成課、福祉課、生涯学習課、子育て支援センター、保育所、幼稚園、家庭教育推進連絡協議会、保健所、療育施設、学校、民生児童委員、育児サークル、NPO、在宅栄養士、精華町登録歯科衛生士、訪問看護ステーション、児童相談所、図書館、教育委員会

数 字 の 目 標： 乳 幼 児 期 の 目 標 値

項 目	現状と目標	国等現状と目標
偏食のある者の割合(3歳6ヶ月児)	35.1%→34% (H17 乳幼児健診問診)	34.0%(4歳未満) (H17 乳幼児栄養調査)
毎日野菜を食べない幼児(3歳6ヶ月児)	(今後調査)→30%	35.0% (H17 乳幼児栄養調査)
テレビ(ゲーム含む)視聴時間が2時間以上の者の割合(3歳6ヶ月児)	39.9%→30% (H17 乳幼児健診問診)	男 54.7%→30% 女 65.9%→30% (府 きょうと健やか21)
就寝時間が10時以降の者の割合(3歳6ヶ月児)	34.4%→30% (H17 乳幼児健診問診)	33.7% (H17 乳幼児栄養調査)
乳幼児と異世代の交流事業開催数	9回→20回	—
育児の相談相手が身近にいる者の割合 新生児訪問 3歳6ヶ月児	(今後調査)→95% (今後調査)→95%	—
育児に肯定的に取り組んでいる者の割合 (気持ちのフェイスマークが(イ)(ロ)の者) 3～4ヶ月健診 2歳児歯科健診 3歳6ヶ月児健診	30.4%→40% 19.2%→30% 21.3%→30% (H17 乳幼児健診問診)	—